

## 恵那市交通バリアフリー化基本構想策定委員会設置要綱

### (設置)

第 1 条 高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律（平成 12 年法律第 68 号。以下「法」という。）第 6 条第 1 項の規定に基づく移動円滑化に係る事業の重点的かつ一体的な推進に関する基本的な構想（以下「基本構想」という。）を策定するため、必要な事項を検討するため、恵那市交通バリアフリー化基本構想策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第 2 条 委員会は、法第 6 条第 2 項各号に規定する基本構想に定める必要のある事項について検討する。

### (組織)

第 3 条 委員会の委員は、20 名以内をもって組織する。

2 委員会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

3 委員長は、委員会の会務を総理する。

4 委員長に事故があるときは、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

### (会議)

第 4 条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会にオブザーバーを置くことができる。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。

### (代理出席)

第 5 条 委員は、あらかじめ指名する者を委員会に代理出席させることができる。

### (任期)

第 6 条 委員の任期は、「基本構想」策定完了までとする

### (庶務)

第 7 条 委員会の庶務は、経済部商工観光課において処理する。

### (その他)

第 8 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

### 附 則

1 この要綱は、平成 16 年 6 月 29 日から施行する。

2 この要綱は、「基本構想」策定の完了をもって、その効力を失う。

## 恵那市交通バリアフリー化基本構想庁内検討委員会設置要綱

### (設置)

第1条 高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律(平成12年法律第68号。)に基づき、恵那市の交通バリアフリー基本構想を策定するにあたり必要な事項を研究、検討するため、恵那市交通バリアフリー化基本構想庁内検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

### (業務)

第2条 委員会は、恵那市交通バリアフリー化基本構想策定にあたり必要な事項について研究、検討を行う。

### (組織)

第4条 委員会は委員長、副委員長及び委員10名以内をもって組織する。

2 委員長は商工観光課長をもって充て、副委員長は商工観光課長補佐をもって充てる。

3 委員は、委員長が指名する者を持って充てる。

### (会議)

第4条 委員長は、委員会を総括する。

2 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集する。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明または意見を求めることができる。

### (任期)

第5条 委員の任期は、「基本構想」策定完了までとする

### (庶務)

第6条 委員会の庶務は、経済部商工観光課において処理する。

### (その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が別に定める。

### 附 則

1 この要綱は、平成16年6月29日から施行する。

2 この要綱は、「基本構想」策定の完了をもって、その効力を失う。

資料 2 : 恵那市交通バリアフリ - 基本構想策定委員

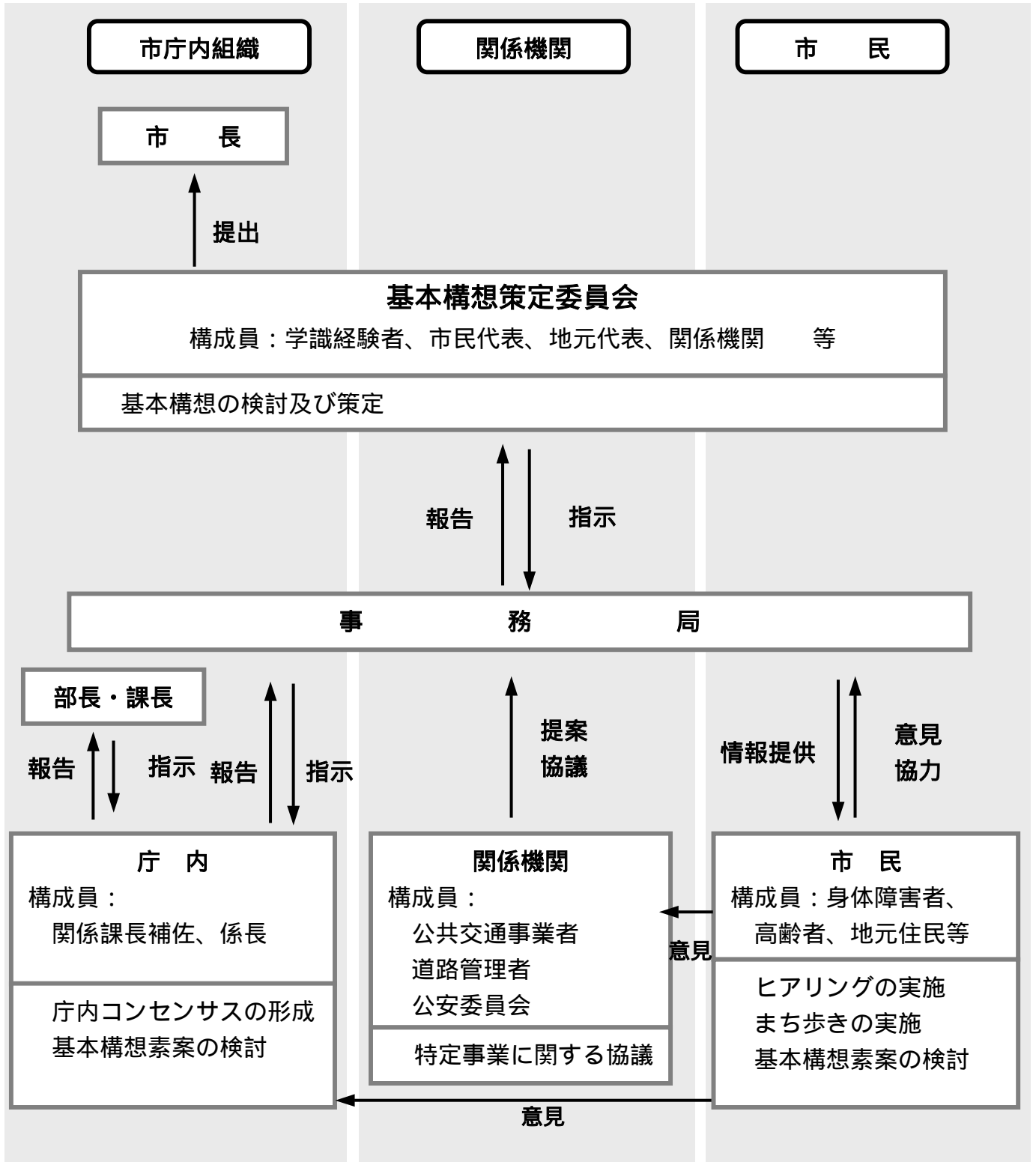
1 . 恵那市交通バリアフリ - 基本構想策定委員名簿

	所 属	氏 名	
委員長	中部大学工学部都市建設工学科	助教授	磯部 友彦
委員	東海旅客鉄道株式会社 東海鉄道事業本部管理部総務課企画係	課 長	宮本 隆司
〃	東濃鉄道株式会社 営業本部 乗合営業部	部 長	富田 尚之
〃	岐阜県恵那警察署交通課	課 長	野村 浩介
〃	恵那市商店街連合会	会 長	大塚 康芳
〃	恵那市ホ`ランティアセンター-移送サ`ビス`ランティア連絡協議会	代 表	鵜飼 剛平
〃	まちづくり市民協会	副会長	松村 駿
〃	恵那市老人クラブ連合会	副会長	伊東 春雄
〃	財団法人岐阜県身体障害者福祉協会恵那市支部	支部長	矢頭 久男
〃	恵那市障害者団体連絡協議会	会 長	田中 清歳
〃	国土交通省中部地方整備局 多治見砂防国道事務所道路管理課	課 長	伊藤 和緒
〃	岐阜県恵那建設事務所事業調整課	課 長	古田 治
〃	岐阜県恵那建設事務所道路維持課	課 長	西尾 保
〃	恵那市建設部	部 長	今井 久朗
〃	恵那市市民福祉部	部 長	渡村 保名
オブザーバー	国土交通省中部運輸局 岐阜運輸支局総務企画課企画係	係 長	片瀬 裕至
	岐阜県地域県民部総合交通室	室 長	赤岩 弘智
	岐阜県警察本部交通部	管理監	信田 正美
	岐阜県警察本部交通部交通規制課	課 長 補 佐	種子島 晃彦
事務局	恵那市経済部商工観光課		

## 2 . 恵那市交通バリアフリ - 基本構想庁内検討委員名簿

	所 属	氏 名	
委員長	恵那市経済部商工観光課	課 長	沢村 憲生
副委員長	恵那市経済部商工観光課	課 長 補 佐	田立 菊子
委員	総務部総務課	係 長	小林 敏博
"	企画部政策調整課	課長補佐 兼 係 長	千藤 秀明
"	市民福祉部社会福祉課障害福祉係	係 長	小木曾 美里
"	市民福祉部高齢福祉課高齢福祉係	係 長	三宅 勝彦
"	建設部道路河川課	課長補佐 兼 係 長	遠藤 博隆
"	建設部都市整備課	係 長	小田 浩
"	建設部都市整備課区画整理推進室	次 長	加藤 元章
事務局	恵那市経済部商工観光課運輸係	係 長	堀 君史
"	恵那市経済部商工観光課商工業係	係 長	可知 昌洋
"	恵那市経済部商工観光課商工業係	主 査	小栗 秀樹

資料 3 : 策定体制



資料4：策定経過

	策定委員会・庁内検討委員会	関連のとりくみ
6月	第1回策定委員会・庁内検討委員会(6/29)	事業者ヒアリング調査(6/20~7/30)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>策定の主旨と目的の説明</li> <li>恵那市の現況把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存計画の把握</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR恵那駅及び市内各駅の現況把握</li> <li>バリアフリー化の課題と方向性</li> </ul>	高齢者・身体障害者等ヒアリング調査(7/16~21)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>外出時の問題点の把握</li> <li>JR恵那駅及び周辺地区の問題点の把握</li> </ul>
8月	第2回庁内検討委員会(8/20)・策定委員会(8/27)	
9月	当事者ヒアリング調査結果の報告	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>恵那市におけるバリアフリー化の考え方の検討</li> <li>重点整備地区及び特定経路の検討</li> </ul>	
10月		まち歩き点検調査(10/12)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>JR恵那駅及び周辺地区における問題点の把握及び共有化</li> <li>整備要望の把握</li> </ul>
11月	第3回庁内検討委員会(11/25)	事業者協議(11/16~22)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>まち歩き点検調査結果の報告</li> <li>重点整備地区及び特定経路の検討</li> <li>重点整備地区における課題の説明</li> <li>重点整備地区の整備方針の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種調査結果及び策定委員会での検討内容に基づく整備方針や内容に対する協議</li> </ul>
12月		市民懇話会(12/21)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想素案の説明及び意見の聴取</li> </ul>
1月		事業者協議(1/7~11)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回協議会及び市民懇話会での検討内容に基づき整備内容に対する協議</li> </ul>
2月		市民懇話会(2/22)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想素案の説明及び意見の聴取</li> </ul>
3月		パブリックコメント実施(2/15~28)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>広報及び市ホームページにて基本構想素案に対する意見の聴取</li> </ul>
3月	第4回庁内検討委員会(3/7)・策定委員会(3/15)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定経路の確認</li> <li>パブリックコメントへの対応</li> <li>基本構想の実現化方策(組織体制等)の検討</li> <li>基本構想原案の検討</li> </ul>	

資料 5 : 恵那駅周辺現況調査概要

1 . 恵那駅周辺現況調査概要

( 1 ) 調査対象

調査対象は、市内の鉄道駅舎と恵那市の中心市街地であり、商業施設や行政機関が立地する駅南における恵那駅から不特定多数の人が利用する施設に至る路線の歩道とします。

調査は、駅舎、道路共に移動円滑化基準に基づき調査を行います。

対象駅

J R 恵那駅
---------

対象路線

路 線 名	路 線 名
県道 恵那駅停車場線	市道 居屋敷舟橋線、葛沢神ノ木線、 羽根平舟山 1 号線
市道 神明前壱丁田線	市道 羽根平舟山 2 号線、羽根平舟山 3 号線
主要地方道 恵那白川線	市道 榎本樋詰線
市道 恵那駅前石橋線	市道 寺平的ヶ屋敷線
国道 1 9 号	市道 榎本 1 号線
市道 葛沢桑下線	市道 横井宇東 ( 榎本堀田 ) 線

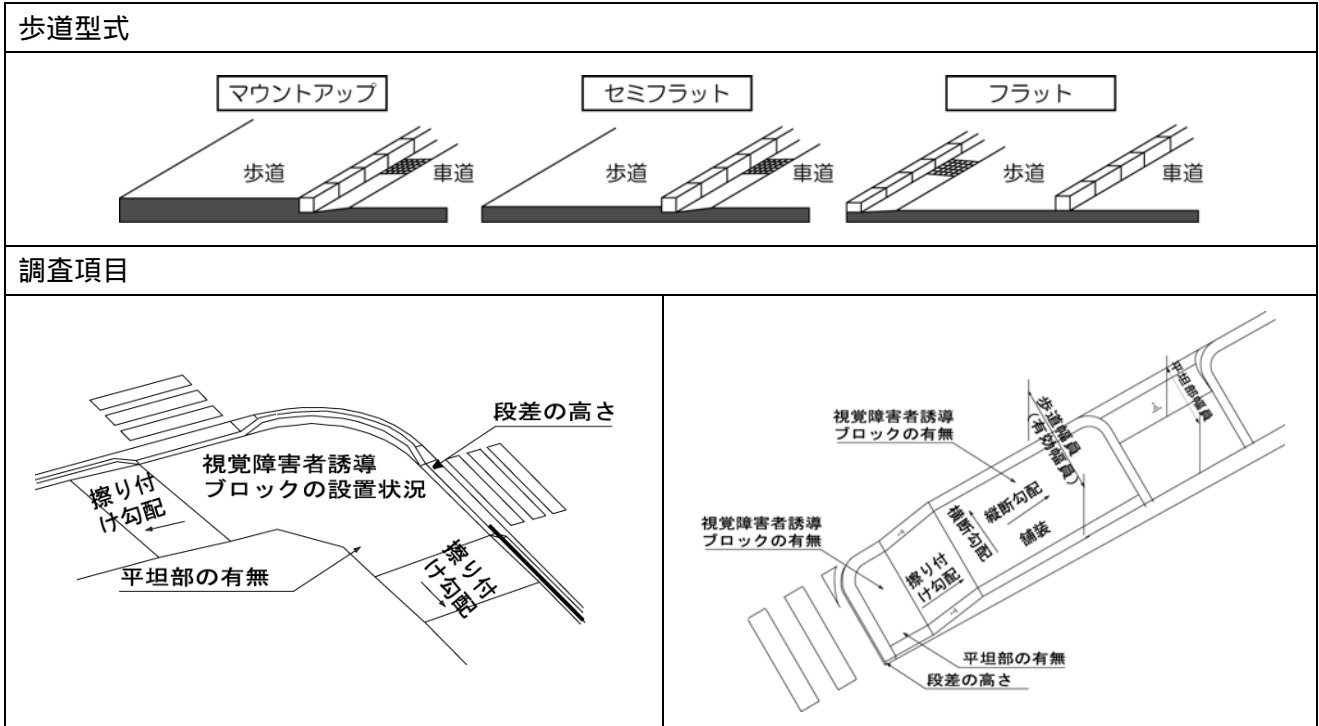
( 2 ) 調査実施日

平成 1 6 年 6 月

( 3 ) 調査内容

駅 舎		歩 道	
調査個目	調査の主な視点	幅 員	有効幅員(2m 以上)
移動経路	幅員(2m 以上)、段差 ( 2cm 以下 ) 等	勾 配	横断方向(1%以下)、縦断方向(5%以下)
券売機	車いす対応、点字案内、有人対応等の有無	舗 装	平坦性、水はけ、滑りやすさ
改 札	車いす対応、有人対応等の有無	点字ブロック	誘導ブロック、警告ブロックの有無
昇降施設	エレベ - タ - 、昇降機等の有無	乗り入れ部	平坦部の確保の有無
情報提供	電光掲示板、音声案内等の有無	歩道タイプ	セミフラット、フラット
トイレ	多目的トイレ、案内表示の有無	段 差	2cm 以下
ホ - ム	転落防止、転落対策の有無	交差点	平坦部の有無

参 考 図





## 2. ヒアリング調査概要

### (1) ヒアリングの目的

身体障害者や高齢者等の外出の状況や公共交通機関の利用及び道路の通行にあたっての問題点を把握するとともに、改善要望を聴取し、基本構想策定の検討資料として活用することを目的とします。

### (2) 対象者

ヒアリングについては、下記の区分により実施し、障害者や高齢者以外にも、介護者、乳幼児連れ、地元自治会や商店街に対しても実施しました。

所属団体	対象者概要	
恵那市身体障害者団体	肢体不自由	5人
	視覚障害者	2人
	聴覚障害者	2人
	内部疾患	2人
恵那市老人クラブ連合会	大井町	7人
	長島町	4人
ボランティア連絡協議会	介護者	4人
まちづくり市民協会	朗読赤い鳥(介護)	1人
	手話サ-クル(介護)	1人
	母親クラブ	4人
	まちづくり市民協会	2人
地元自治会・恵那市商店街連合		9人
恵南地区身体障害者団体	肢体不自由	7人
	内部疾患	4人

### (3) 主なヒアリング項目

- 公共交通による外出頻度など
- JR恵那駅・明知鉄道恵那駅について改善要望など
- 駅前広場について改善要望など
- 道路についての改善要望など
- 鉄道・バス車両への改善要望など
- 各施設への移動についての改善要望など
- こころのバリア及びソフトの取組など

### 3. JR恵那駅周辺バリアフリー点検まち歩き概要

#### (1) まち歩きの目的

高齢者や障害者をはじめ幅広い当事者の参加によりまち歩きを実施し、JR恵那駅周辺の道路や旅客施設等のバリア（障壁）の現状について、利用者の視点から実態に即した調査を行うことを目的としました。

なお、まち歩きで出された意見は、実態に即した貴重な意見として、「恵那市交通バリアフリー基本構想」作成の検討資料として活用しています。

#### (2) まち歩きの概要

実施日時 平成16年10月12日（火） 13:00～17:00  
（平成16年10月5日（火）は雨天により中止）

実施場所 調査場所：JR恵那駅周辺道路及び旅客施設等  
集合場所：恵那市共同福社会館 集会室

#### 調査ルート（別紙図面参照）

- 1班：JR恵那駅 明知鉄道 駅前広場 葛沢桑下線 西銀座通り 恵那駅停車場線
- 2班：駅前広場 恵那駅停車場線（駅前～佐渡交差点） まちなか多目的防災広場
- 3班：総合福祉センタ - 恵那白川線 恵那駅停車場線 神明前壱丁田線 市役所前  
周囲 共同福社会館
- 4班：恵那市文化センタ - 神明前壱丁田線 恵那駅停車場線 国道19号 樋詰1  
号線 共同福社会館

#### 参加者

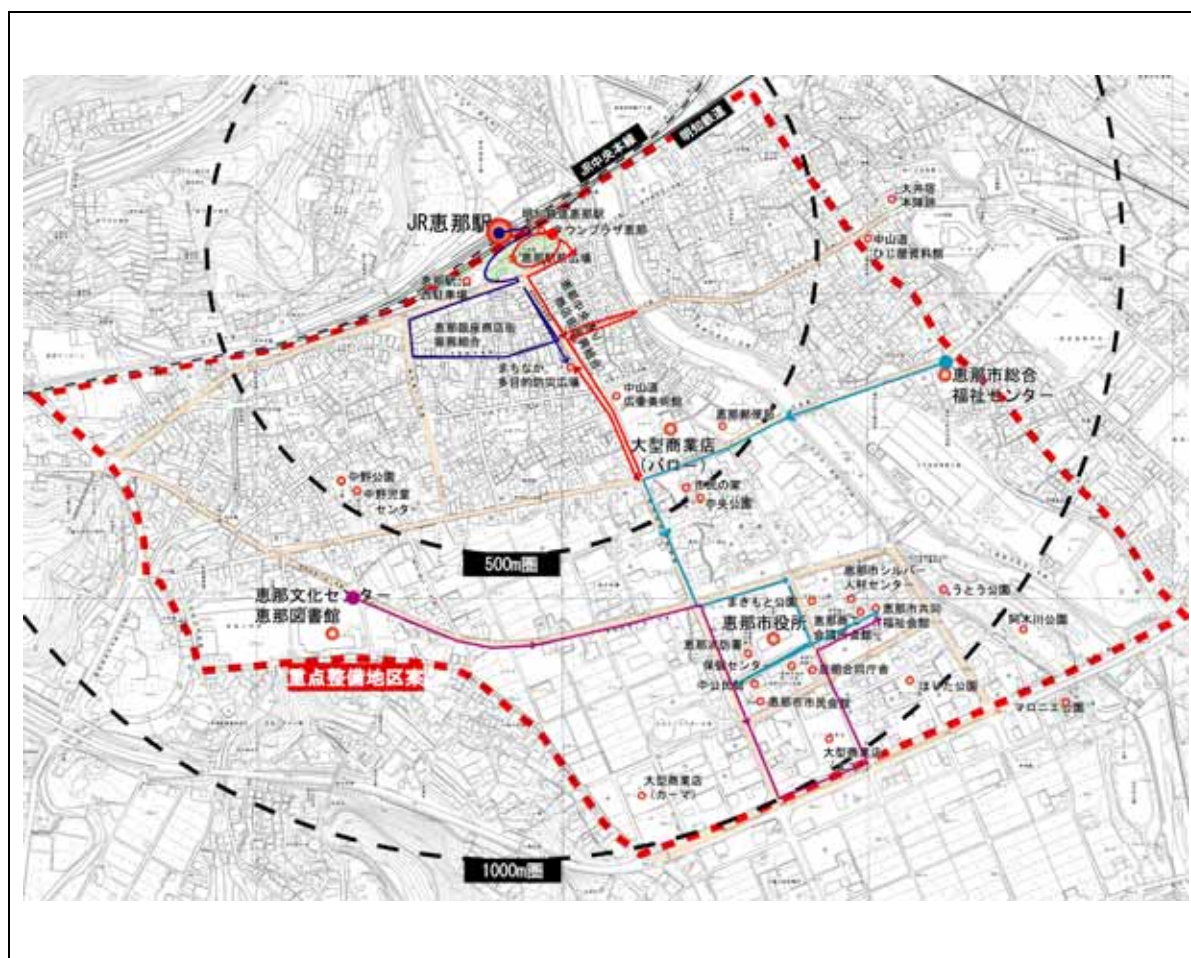
車椅子	3人（シニアカー1台）+車椅子体験1台
視覚障害者	3人
内部機能障害者	1人
高齢者	12名
乳幼児連れ	3名（乳幼児2名）
地元商店街	1名
介助者・ボランティア	8名

## スケジュール

時間	内 容	
12:45	集 合	
13:00	開 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あいさつ</li> <li>・ 点検方法及び調査ルート、スケジュール、その他注意事項等の説明</li> </ul>
13:20	調 査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班ごとにチェックシートを参考に点検調査</li> </ul>
15:10	休 憩	
15:25	まとめ作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各班ごとに調査結果の取りまとめ</li> </ul>
16:20	発 表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各班ごとにまとめたものを市民が発表</li> </ul>
16:40	総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本構想策定委員会委員長から講評</li> </ul>
16:50	閉 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 閉会挨拶</li> </ul>

### ( 調査ルート )

— 1 班     
 — 2 班     
 — 3 班     
 — 4 班



#### 4 . 高齢者アンケート調査概要

##### ( 1 ) 調査目的

高齢者等の外出の状況や公共交通機関の利用及び道路の通行にあたっての問題点を把握するとともに、改善要望を聴取し、基本構想策定の検討資料として活用することを目的とします。

##### ( 2 ) 対象者

特定旅客施設であるＪＲ恵那駅がある長島町、大井町は人口が多く駅及びその周辺の利用頻度も多いことからヒアリング調査を実施し、それ以外のＪＲ恵那駅から離れた地区に住まわれている高齢者を対象にアンケート調査を実施しました。

対象者居住地区	回答者
武並、中野方、三郷、飯地、笠置、東野地区	59 名
岩村、上矢作、串原、明智、山岡地区	111 名
計	170 名

##### ( 3 ) 実施方法

アンケートは、各振興事務所から各地区の老人クラブを通じてお願いしました。調査対象は、各地区の人口に応じて約 10～30 人となっています。

アンケートの設問は旧恵那市用と旧恵南地区用の 2 種類を用意しました。旧恵南地区の設問は、旧恵那市と同様の設問に加えて外出先その目的をお聞きしています。

(4) アンケート設問

旧恵那市用(長島町、大井町除く)

あなたについてお聞かせください

(住所以外は該当する項目に をつけて下さい)

. 性別： 男性 、 女性	. 年齢：65～74 歳、75～84 歳、85 歳以上
. あなたのお住まい： _____ 町・村 _____ 小学校区	
. 障害の有無：有(上肢、下肢、視覚、聴覚、内部疾患、その他) 無	
. 外出時の付き添い： 必要ない、 遠方への外出時には必要、 必要	
. 普段の生活で歩行補助具を利用されますか : 利用しない 、 利用する	
歩行補助具を利用される方は何を利用されていますか(複数回答可)	
1 . 車椅子・シニアカー(電動含む) 2 . 杖(松葉杖・クラッチ含む) 3 . 手押し車 4 . ペースメーカー等医療器具の装着 5 . その他：上記以外にありましたら下記にご記入下さい  ( _____ )	

小学校区：お住まいの地区のお子さんが通う学校名をお書き下さい。

JR恵那駅、駅周辺及び市役所周辺の利用についてご質問します。

問1：JR恵那駅、駅周辺、市役所周辺へ来られる回数をお聞きします。該当する項目にをつけてください

1 . ほぼ毎日	2 . 週に2回～3回
3 . 週1回程度	4 . 月1～2回程度
5 . 年に5回～6回	6 . 年に1回～2回程度

7 . まったく行かない      以上で質問は終了です

問2：来られた目的はなんですか(最も多いものから2つ選んで を付けてください)

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1 . 買い物のため    | 2 . 病院、医院への通院ため  |
| 3 . 福祉施設利用のため | 4 . 知人・親戚等を尋ねるため |
| 5 . 旅行のため     | 6 . その他( _____ ) |

問3：どのような交通手段で来られますか（複数回答も可）

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1．JR東海鉄道     | 2．明知鉄道    |
| 3．バス         | 4．タクシー    |
| 5．自動車（自分で運転） | 6．自動車（送迎） |
| 7．その他（       | ）         |

問4：JR恵那駅や、明知鉄道恵那駅、バス及び周辺道路等で、移動する時困ったことはありますか。該当する項目に を付けてください。（複数回答も可）

【道路・周辺施設】

- 1．段差がありつまづく
- 2．傾斜がきつい
- 3．点字ブロックにつまづき危険である
- 4．案内板が見えにくい、どこにあるのか分からないので不便である
- 5．違法駐車があり移動のじゃまになる
- 6．横断歩道がなく横断が危険である
- 7．休憩するベンチなどが無い
- 8．高齢者・障害者にやさしいトイレが少ない
- 10．タクシー乗り場の位置が悪い、分かりにくい
- 11．駅周辺に高齢者・障害者の使える駐車場が少ない
- 12．周辺道路を利用したことがないのでわからない

【鉄道】

- 1．階段が急で危険、又は歩くのに苦痛である
- 2．通路の段差につまづき危険である
- 3．点字ブロックにつまづき危険である
- 4．半券機でキップを買うのが大変である
- 5．高齢者・障害者にやさしいトイレがない
- 6．車両とホームに段差隙間があるため乗り降りが不便である
- 7．構内放送がよく聞こえない
- 8．案内板がよく見えないので情報が分かりにくい
- 9．移動に際して職員が十分な対応をしてくれない
- 10．鉄道を利用したことがないので分からない

【バス】

- 1．バスの乗り降りが不便である
- 2．バスの中に段差があり危険である
- 3．バスの本数が少なく不便である
- 4．バスターミナルにて、どこのバスに乗ればよいか分かりにくい
- 5．時刻表が見づらい、分かりにくい
- 6．乗降の際、運転手が十分な対応をしてくれない
- 7．バスを利用したことがないので分からない

交通バリアフリー化を進めていくために、有効と思われる施策、活動、考え方について、ご意見がありましたらお教えてください。

自由回答：( )

旧恵南地区用

あなたについてお聞かせください

(住所以外は該当する項目に をつけて下さい)

性別： 男性 、 女性	年齢： 65～74 歳、 75～84 歳、 85 歳以上
あなたのお住まい： _____町・村 _____小学校区	
障害の有無： 有（上肢、下肢、視覚、聴覚、内部疾患、その他）、 無	
外出時の付き添い： 必要ない、 遠方への外出時には必要、 必要	
普段の生活で歩行補助具を利用されますか：	
利用しない 、 利用する	
歩行補助具を利用される方は何を利用されていますか（複数回答可）	
1．車椅子・シニアカー（電動含む）      2．杖（松葉杖・クラッチ含む） 3．手押し車                                      4．ペースメーカー等医療器具の装着 5．その他：上記以外にありましたら下記にご記入下さい	
( _____ )	

小学校区：お住まいの地区のお子さんが通う学校名をお書き下さい。

あなたの外出先についてご質問します

問1：あなたが下記の用事で外出するときの主な外出先をお聞きします。該当する外出先の番号に を付けてください

買い物のため

- |       |        |           |       |
|-------|--------|-----------|-------|
| 1．恵那市 | 2．岩村町  | 3．山岡町     | 4．明智町 |
| 5．串原村 | 6．上矢作町 | 7．その他の市町村 |       |

病院、医院への通院ため

- |       |        |           |       |
|-------|--------|-----------|-------|
| 1．恵那市 | 2．岩村町  | 3．山岡町     | 4．明智町 |
| 5．串原村 | 6．上矢作町 | 7．その他の市町村 |       |

上記以外に頻繁に外出する先があれば外出目的と外出先をお聞かせ下さい

外出目的：( \_\_\_\_\_ )

- |       |        |           |       |
|-------|--------|-----------|-------|
| 1．恵那市 | 2．岩村町  | 3．山岡町     | 4．明智町 |
| 5．串原村 | 6．上矢作町 | 7．その他の市町村 |       |



J R 恵那駅、駅周辺及び市役所周辺の利用についてご質問します。

問2：J R 恵那駅、駅周辺、市役所周辺へ来られる回数をお聞きします。該当する項目にをつけてください

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1 . ほぼ毎日         | 2 . 週に 2 回 ~ 3 回   |
| 3 . 週 1 回程度      | 4 . 月 1 ~ 2 回程度    |
| 5 . 年に 5 回 ~ 6 回 | 6 . 年に 1 回 ~ 2 回程度 |

7 . まったく行かない      以上で質問は終了です

問3：来られた目的はなんですか（最も多いものから2つ選んで を付けてください）

- |               |                                  |
|---------------|----------------------------------|
| 1 . 買い物のため    | 2 . 病院、医院への通院ため                  |
| 3 . 福祉施設利用のため | 4 . 知人・親戚等を尋ねるため                 |
| 5 . 旅行のため     | 6 . その他 (                      ) |

問4：どのような交通手段で来られますか（複数回答も可）

- |                                  |             |
|----------------------------------|-------------|
| 1 . J R 東海鉄道                     | 2 . 明知鉄道    |
| 3 . バス                           | 4 . タクシー    |
| 5 . 自動車（自分で運転）                   | 6 . 自動車（送迎） |
| 7 . その他 (                      ) |             |

問5：J R 恵那駅や、明知鉄道恵那駅、バス及び周辺道路等で、移動する時困ったことはありますか。該当する項目に を付けてください。（複数回答も可）

#### 【道路・周辺施設】

- 1 . 段差がありつまづく
- 2 . 傾斜がきつい
- 3 . 点字ブロックにつまづき危険である
- 4 . 案内板が見えにくい、どこにあるのか分からないので不便である
- 5 . 違法駐車があり移動のじゃまになる
- 6 . 横断歩道がなく横断が危険である
- 7 . 休憩するベンチなどが無い
- 8 . 高齢者・障害者にやさしいトイレが少ない
- 10 . タクシー乗り場の位置が悪い、分かりにくい
- 11 . 駅周辺に高齢者・障害者の使える駐車場が少ない
- 12 . 周辺道路を利用したことがないのでわからない

### 【鉄道】

- 1 . 階段が急で危険、又は歩くのに苦痛である
- 2 . 通路の段差につまずき危険である
- 3 . 点字ブロックにつまずき危険である
- 4 . 半券機でキップを買うのが大変である
- 5 . 高齢者・障害者にやさしいトイレがない
- 6 . 車両とホームに段差隙間があるため乗り降りが不便である
- 7 . 構内放送がよく聞こえない
- 8 . 案内板がよく見えないので情報が分かりにくい
- 9 . 移動に際して職員が十分な対応をしてくれない
- 10 . 鉄道を利用したことがないので分からない

### 【バス】

- 1 . バスの乗り降りが不便である
- 2 . バスの中に段差があり危険である
- 3 . バスの本数が少なく不便である
- 4 . バスターミナルにて、どこのバスに乗ればよいか分かりにくい
- 5 . 時刻表が見づらい、分かりにくい
- 6 . 乗降の際、運転手が十分な対応をしてくれない
- 7 . バスを利用したことがないので分からない

交通バリアフリー化を進めていくために、有効と思われる施策、活動、考え方について、ご意見がありましたらお教えください。

自由回答：( )

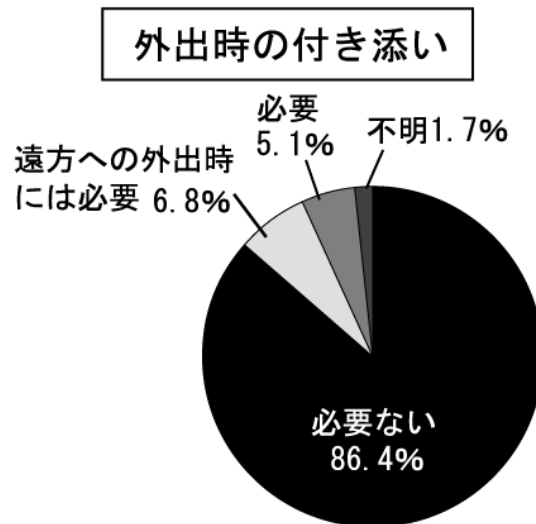
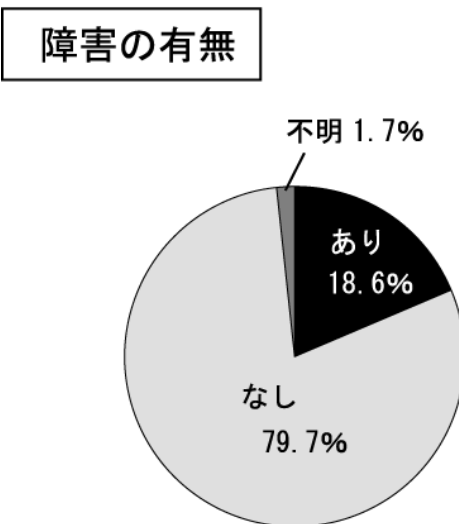
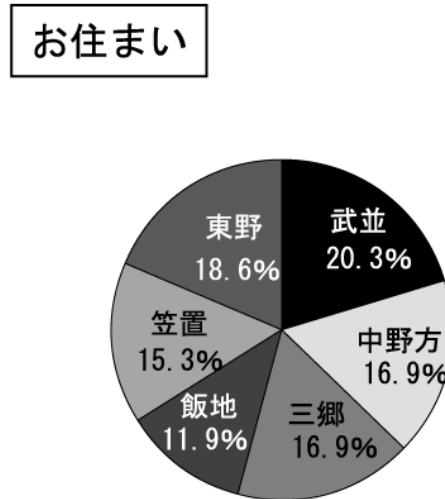
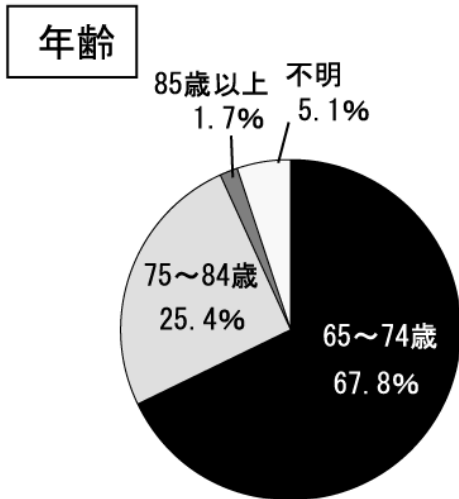
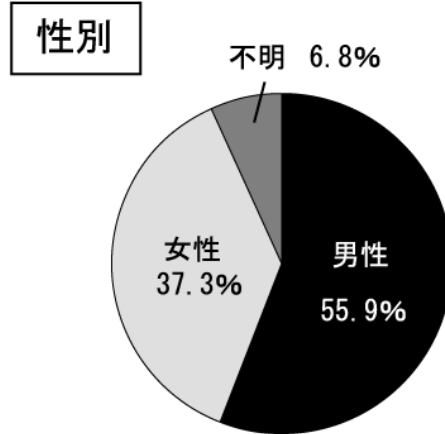
(5) 調査結果

武並、中野方、三郷、飯地、笠置、東野地区

回答者属性

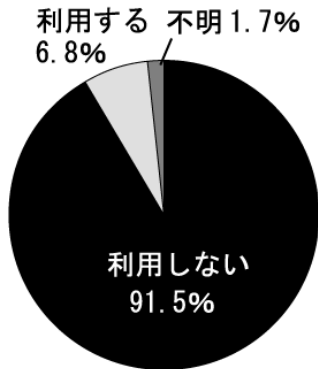
- ・年齢は65～74才の方が67.8%、75～84才が25.4%という内訳でした。障害をもつ方は18.6%ですが、外出時に付き添いを必要とする方は11.9%で、歩行補助具としては杖を利用しています。

※単純集計（円グラフ）

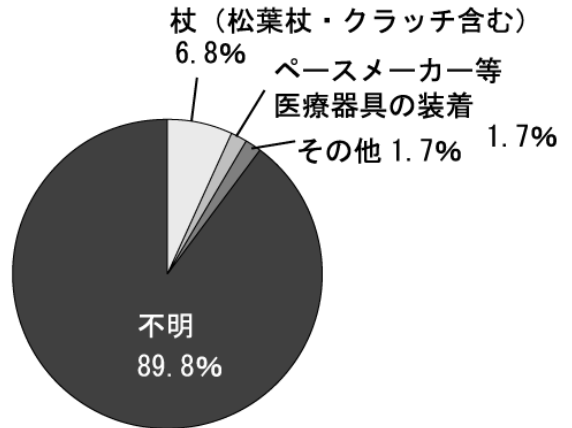


※単純集計（円グラフ）

普段の生活における  
歩行補助具の利用有無



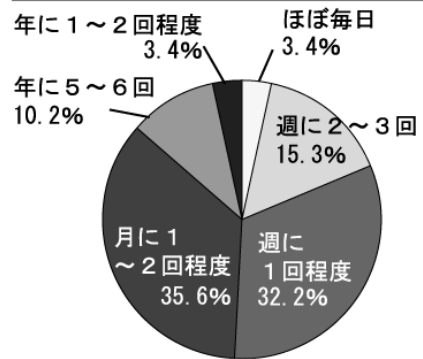
利用する歩行補助具



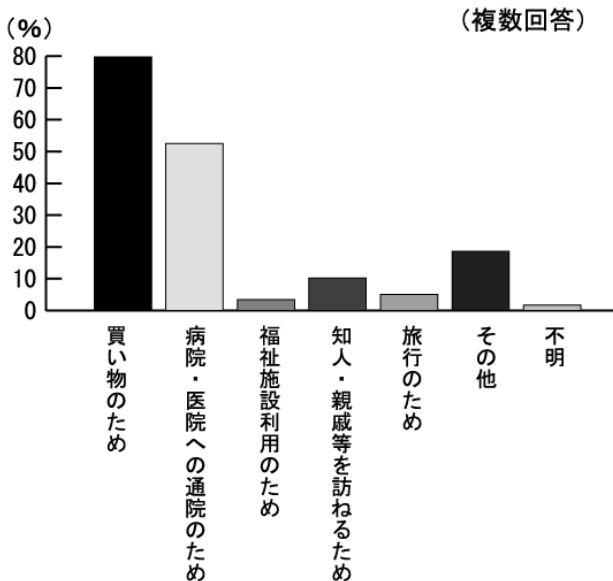
J R 恵那駅、駅周辺利用状況

・ J R 恵那駅周辺及び市役所周辺には週1回、2～4週間に1回の頻度で来街しています。買物と病院へ行く方が多いです。外出時には自分で自動車を運転する方がもっとも多く、ついでバス利用が多いです。

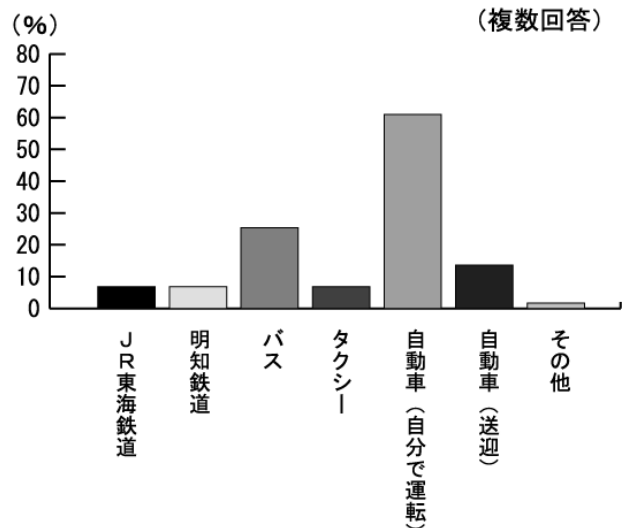
問 1 J R 恵那駅、駅周辺、  
市役所周辺の利用回数



問 2 利用目的



問 3 交通手段



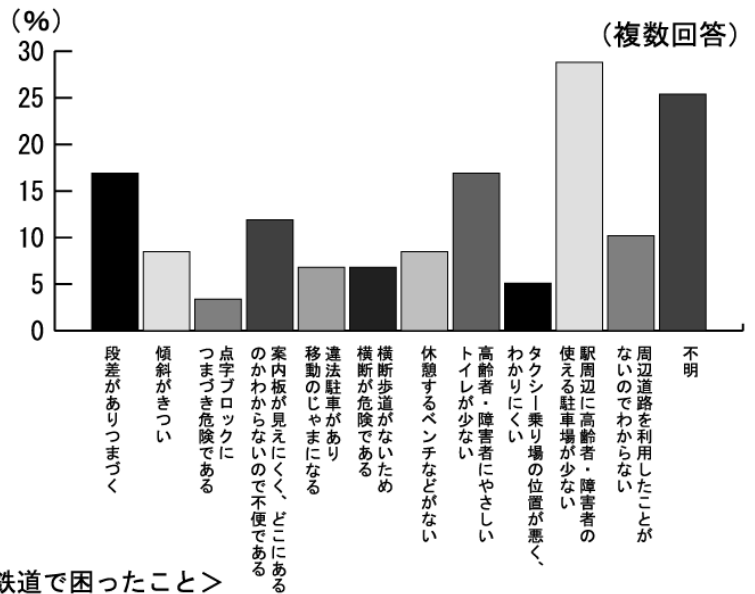
問 4

バリアについて

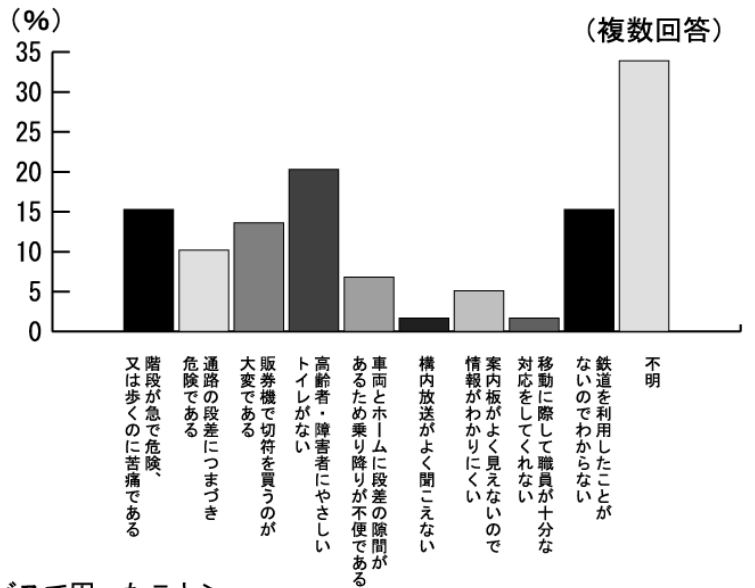
- 道路については「駅周辺に駐車場がない」、「段差につまづく」、「トイレがない」ことがあげられ、鉄道については「トイレがない」、「階段が急である」ことが、バスについては「本数が少なく不便である」ことがあげられています。

※単純集計 棒グラフ

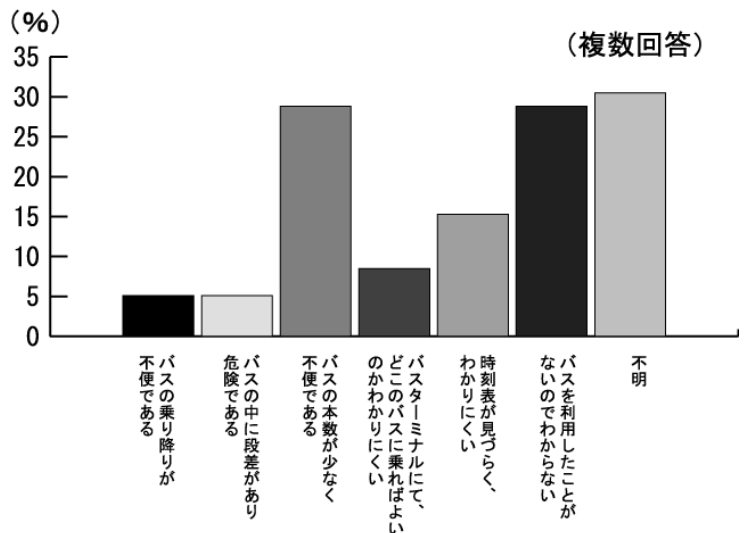
<道路・周辺施設で困ったこと>



<鉄道で困ったこと>



<バスで困ったこと>



自由解答

箇所	内容
J R 恵那駅 (ホーム)	<p>たまには J R を利用したいのですが、上下線ホームを移動するのに渡ることができないため、何か良い方法はないものかとも思っています。</p> <p>駅の正面に電車が止まると、ホームと電車の間が人間一人分が簡単に落ちるくらいです。私は通勤していますが、本当に気をつけて乗降しております。特に冬になると滑りやすく危険です。</p>
(トイレ)	( J R ) 大正初期のトイレは、いつになったら今の時代に沿ったトイレができるのか待っている。
恵那駅 駅前広場	<p>送迎時に困難である。(花壇や芝生はなくした方がよい)</p> <p>恵那駅前の大きな石がじゃまになっている。</p>
バス	この地区では、公共交通機関が皆無に等しい。かろうじて時間的に制限のあるスクールバスを一日一回だけ利用させてもらっている。病院・医院・買い物等で街へ出るのに使うタクシー代は、年金生活を大きく圧迫している。大型バスでなくても良いし、毎日でなくても良いので、他地区ではかなり実施されている福祉バスのものを走らせてほしいと思う。バスの交通バリアフリー化は、その後の問題ではないかと思う。
自動車	日本には、自家用車が多すぎる。一軒に何台と決め、国会を通じて陸運局を通じ法律を改正する。もっともっと電車とバスの数を多くする。
心のバリアフリー	<p>高齢者や障害者にはそれぞれ程度の差があるため、すべての人に対応できるバリアフリーは困難と思われる。もし自分が困って見える人を見かけたら、手を差し伸べる勇気が必要かと思う。</p> <p>若い人も含めて、お互いの譲り合い運動教育が大切だと思います。</p>
アンケート	障害者専用施設を設けて利用活動を図ることであり、本件アンケート調査は障害者の意見を尊重した策定のため障害者にアンケートを求めるべきである。

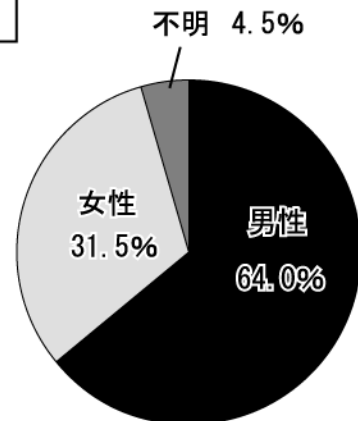
岩村、上矢作、串原、明智、山岡地区

回答者属性

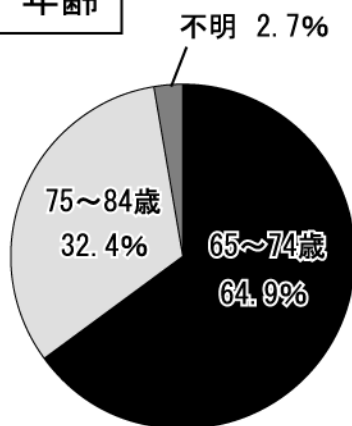
- ・65～74 才の方が 64.9%、75～84 才が 32.4%という内訳でした。障害をもつ方は 15.3%であり、外出時付き添いを必要とする方は 4.5%で、杖を利用する方は 1.8%でした。

※単純集計（円グラフ）

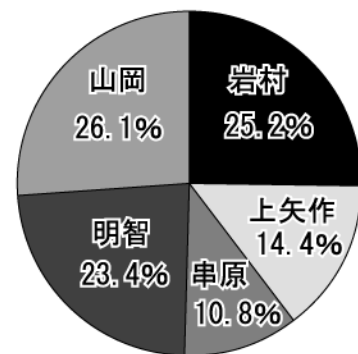
性別



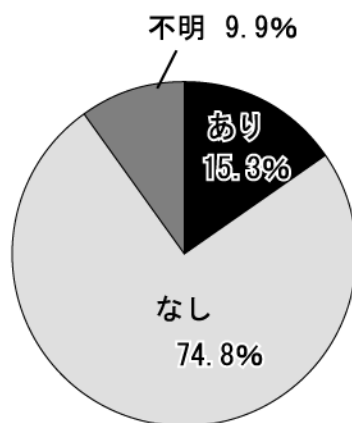
年齢



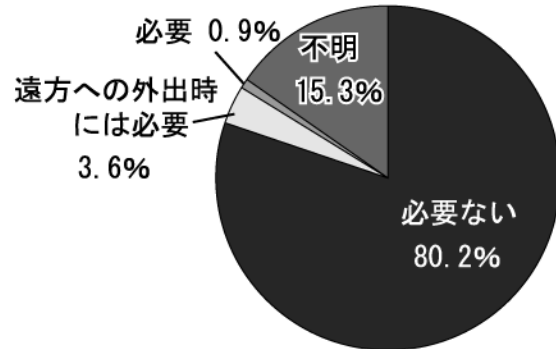
お住まい



障害の有無

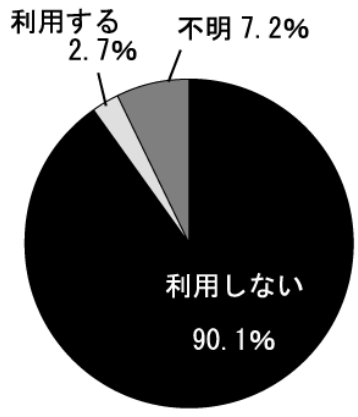


外出時の付き添い

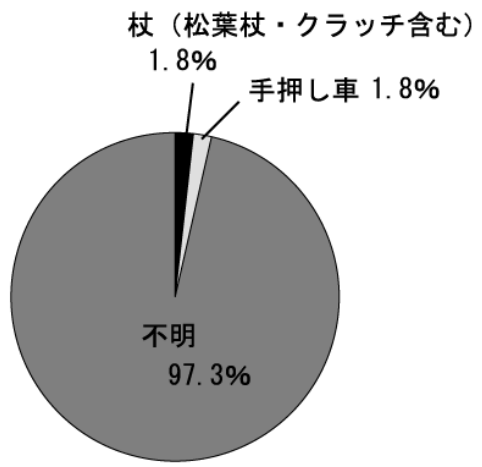


歩行補助具の有無と種類

普段の生活における歩行補助具の利用有無



利用する歩行補助具

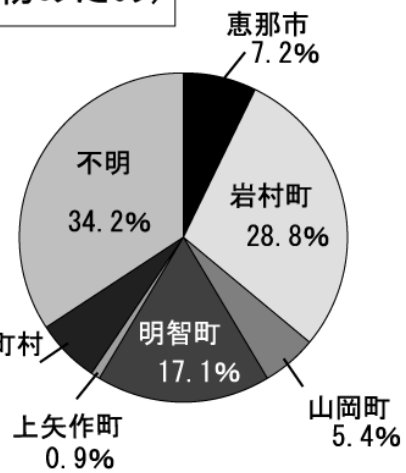


問 1

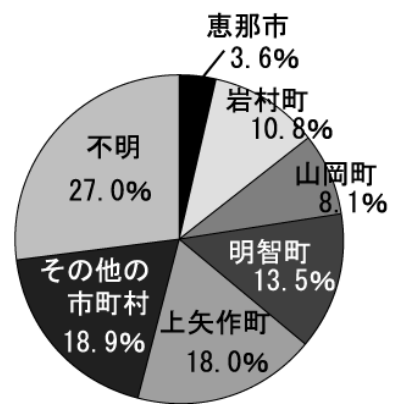
外出先について

- ・買物先としては岩村町、明智町が合わせて 45.9%で、旧恵那市は 7.2%でした。病院は旧恵那市が 3.6%で、上矢作町が 18.0%、その他が 18.9%でした。それ以外の外出先として旧恵那市が 17.1%あげられていますが、その他の内容が買物、病院への外出先とする方が回答されており、買物先の2番手が旧恵那市であると答われています。

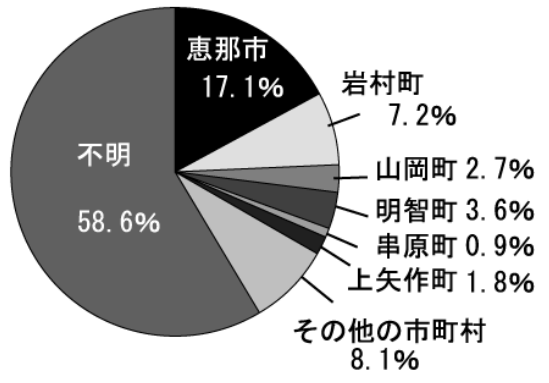
①外出先（買い物のため）



②外出先（病院、医院への通院のため）



③外出先（上記以外）



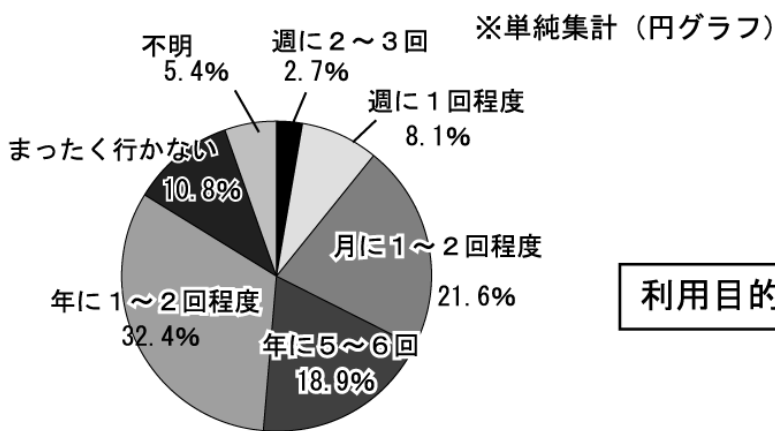


### J R 恵那駅、駅周辺利用状況

- ・ J R 恵那駅、市役所周辺へは年に 1 ~ 2 回程度が 32.4%、月に 1 ~ 2 回程度が 21.6% であり、その目的としては買物、病院が多く、自分で自動車で行く方がもっとも多く、ついで明知鉄道が利用されています。

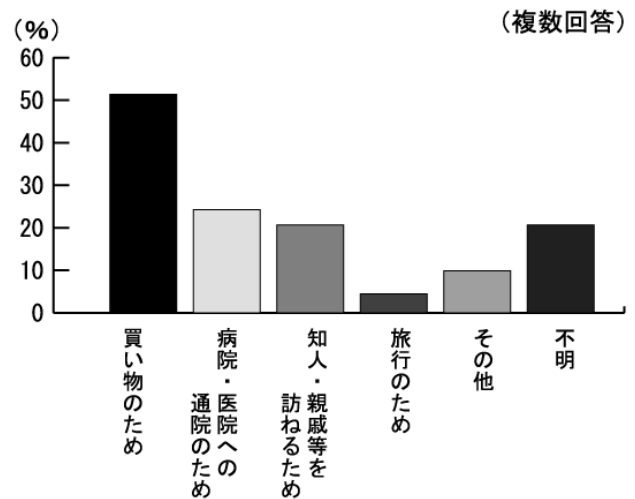
居住区別にみますと、岩村、上矢作町が比較的頻度が高く、山岡町でまったく行かない方が 24.1%、串原では 10.0% です。居住区別の交通手段では自分で運転する自動車という方がもっとも多いですが、岩村町、明智町では明知鉄道が利用されています。

J R 恵那駅、駅周辺、市役所周辺の利用回数	問 2
------------------------	-----

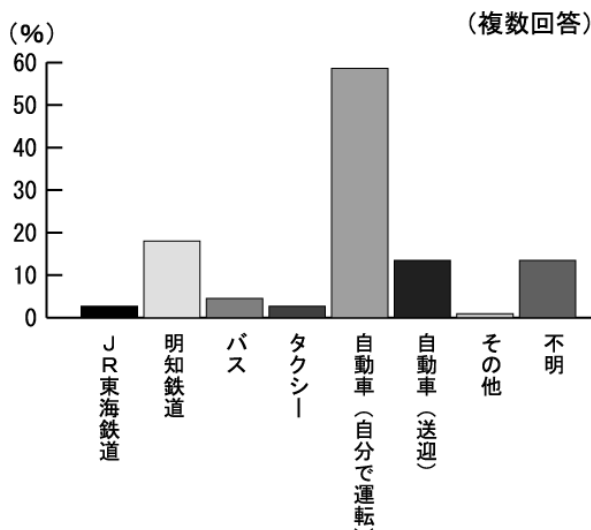


利用目的	問 3
------	-----

※単純集計 棒グラフ



交通手段	問 4
------	-----



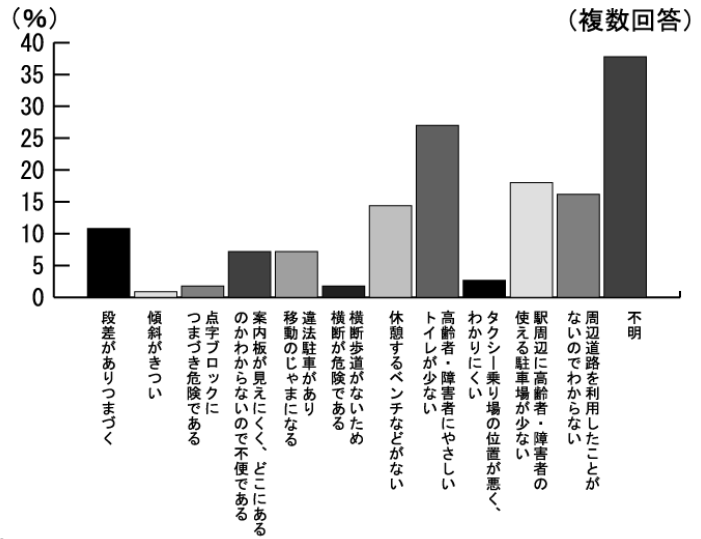
問5

バリアについて

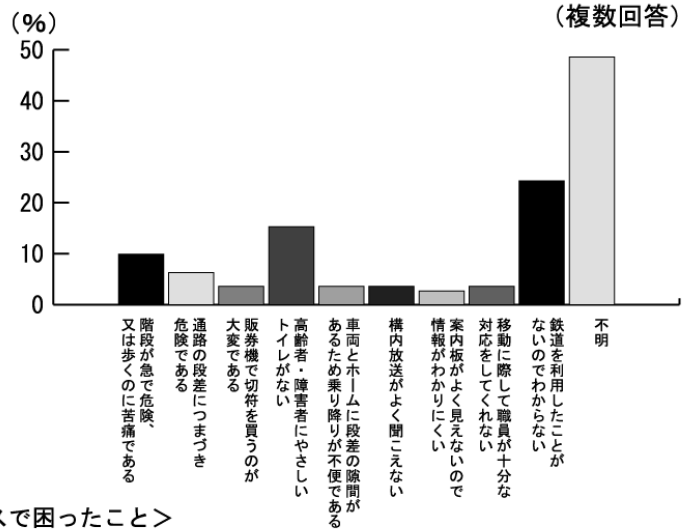
- ・JR恵那駅周辺道路では「トイレが少ない」「駐車場が少ない」「休憩するベンチなどが無い」という声が多く、鉄道、バスとも「利用したことがないからわからない」がもっとも多くなっています。

※単純集計 棒グラフ

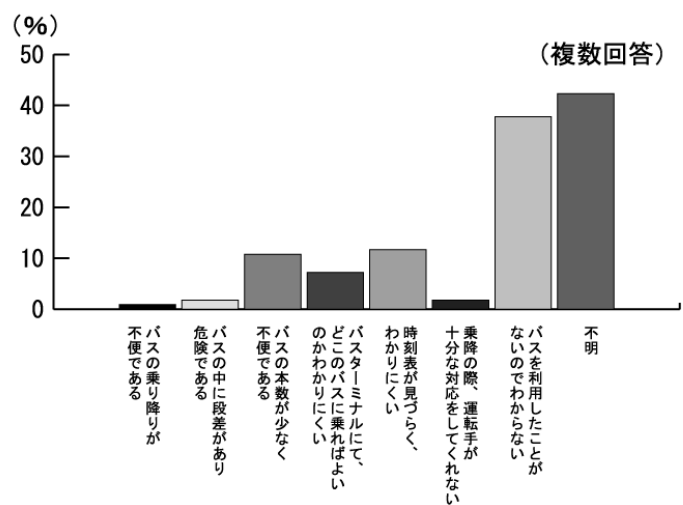
<道路・周辺施設で困ったこと>



<鉄道で困ったこと>



<バスで困ったこと>



## 自由解答

箇所	内容
J R 恵那駅	J R の階段の上り下りが大変です。エスカレーターがあると良い。
バス	運動の出来ない老人のために、細かい配慮をした交通便がほしい。例えば、町内を走るバスなどがあれば良い。
明知鉄道	明知鉄道の利用について地域住民に広報拡大版で図り、恵那市内の重要な交通機関として対応する（旧恵那市内と恵那地域とともに相互利用の拡大） 明知鉄道沿線の老人クラブ会員 65 歳以上の対象者に会員券の対応は大変に有り難い企画で感謝しているが、障害者も対象にしてはと思う。（割引き制度等）
道路	恵那駅前の道路が高齢者にとってはわかりにくい。段差が多く、右側と左側に行く通路に自動車が走行し、歩道かどうかわかりにくく、危険である。また、信号機が多い。
整備	交通バリアフリーを進めるために、常に人の多い場所の駅などについては、高齢者の行動の妨げにならない公共施設等を重点的に整備する必要があると思う。（高齢者専用階段を設置すると良い）
恵那駅 駅前広場	恵那駅前の一般駐車場が少ない。石造り公園を広く開放するか、駐車スペースにするかしてほしい。
その他	100%自家用車利用のため、道路改良に力を入れてほしい。 今まで気がつかなかったが、バリアフリーの必要な人は、付添い人こそ必要ではないか。60年近くの間改良されていたことに気づかなかった。通学時代以降は利用しないので。 その時にならなければわからない。 旧恵那市だけの交通バリアフリーで、新恵那市となる各町村のことは構想には何も書かれていないようだが、交通バリアフリーにはずいぶんお金のかかる事であると思うが、新市民となる各町村の住民も対象者として構想をつくっていただきたい。

## 資料 6 : 市民懇話会

### 1 . 目的

ヒアリング、まち歩きの参加者を中心に、広報などで広く市民に開催を通知し、基本構想素案について確認してもらい意見を求め、利用者の意見としてまとめられたものを基本構想に反映させることを目的としました。

### 2 . 市民懇話会概要

#### ( 1 ) 実施日時・会場

第 1 回 : 平成 16 年 12 月 21 日 13 時 30 分 ~ 16 時 ( 恵那市文化センター 1 F )

第 2 回 : 平成 17 年 3 月 24 日 19 時 30 分 ~ 21 時 ( 恵那市役所会議棟 )

#### ( 2 ) 実施内容

	参加者	内容
第 1 回	ヒアリング、まち歩きの参加者等	・ 基本構想素案説明 ・ 基本構想素案に対する質疑応答
第 2 回	市民全体 ( 広報にて通知 ) 第 1 回に来られなかったヒアリング、 まち歩きの参加者等	・ 基本構想素案説明 ・ 基本構想素案に対する質疑応答

### 3 . 市民懇話会結果

#### ( 1 ) 第 1 回

質問・要望事項	回答
( 視覚障害者 ) ・ JR 恵那駅の事業計画は、エレベーターとトイレだけなのか。 ・ 誘導鈴や転落防止柵 ( 先端の方 ) を設置してほしい。	・ バリアフリー法にもとづく駅舎改修事業においては、エレベーターと多目的トイレの設置が検討されている。エレベーターを使った改札から各ホームまでの移動円滑化された経路を確保することが主目的であるが、案内掲示、視覚障害者誘導ブロックなどの移動円滑化された経路を構成する諸設備は、具体的な記載はないが整備の内容に含まれていると考えている。
・ タクシーの乗降場を移動するならば駅改札の正面にしてほしい。	・ 恵那駅の地形は駅舎が周囲より高くなっており、駅正面で平坦部を確保すると車道と高低差が生じる。そのため正面ではないが唯一屋根があり、もっとも駅舎に近い、バス乗降場の後方を検討している。

質問・要望事項	回答
<p>(視覚障害者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整備後に作り直すことのない様に十分検討してほしい。出来れば整備前に市民が設計や工事に対し提案できるような場を設けてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市としても十分検討して整備していく。また、利用者の意見を踏まえていきたい。市民においてもどこかで意見をまとめ、ある程度統一された意見が出せるように取り組んでほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが身体障害者や高齢者をはじめ困っている人がいたら直に手伝いが出来るようになれば極端に言えばハード整備はいらないのではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハードですべて解決する事は難しく行政としてもソフトな対応が可能なまちにしていくことも同時に進めていく。心のバリアフリーに取り組んでいきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>JRは早ければ17年度には事業に取り掛かりたいとの事だったが、それに対し市としては予算を含め準備が出来ているのかうかがいたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定事業で特に鉄道については、国、市、事業者が3者協力して実施する事業であり、早急に実施すべく調整を進めている。市としても事業実施が可能となった場合は、可能な限り対応できるよう準備を進めている。</li> </ul>
<p>(上肢障害者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>聴覚障害者から駅ホームへ電光掲示板を設置してほしいとの要望があったがこれはいかがか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回は構想であり、細かい構造等は、今後の事業計画に示される。今回いただいた要望については、事業者に伝え、可能な限り対応を要望していく。</li> </ul>
<p>(肢体障害者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般駐車場や駅西駐車場側にも屋根を設置してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討は行ったが、これだけのものとなると予算が確保できず整備の目処がたたない。そのためまず出来ることから行い現状より利用し易くする事を第1とし、バス乗り場側への屋根の設置を位置付けした。</li> </ul>
<p>(身体障害者福祉協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般乗降場の混雑の緩和を図り、身体障害者用一時停車帯を設けてほしい。</li> <li>モニュメント置き場やタクシープールをもっと有効利用できないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体障害者用一時停車帯の設置位置については検討中である。バス等との整理が懸念される。設置することを前提に位置について検討していく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>駅のトイレを昔のように中からも外からも利用できるようにしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市単独で、駅西駐車場やタウンプラザの横にトイレを設置した。ひとつの駅広に同様の施設を複数作る事は出来ない。また、駅の中と外、両方から入れるようにすると費用の負担や今後の管理をどこが行うなどの問題が出てくる。 現在のこちらの思いとしては、鉄道利用者以外も多目的トイレを利用したい人は改札で断る事により自由に使えるようにJRと協議していきたい。</li> </ul>

質問・要望事項	回答
<p>(ボランティア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スペースは限られており何が最も必要なのかを明確にし整備するべきである。</li> <li>・ 健常者の送迎は、駅前でなく若干離れたところでもよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な考え方としては、誰もが自立して自由に移動できる事が理想である。ただ、それを実現する事は、大変困難なためまず出来る事を行い現状より少しでも改善するように取り組んでいく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 点字ブロックは最近ではセンサー付誘導が開発されているというが、現在どのような状況なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各メーカーで色々な研究が進んでいるがまだ統一されたものはなく、身体障害者の方に器具を購入してもらう必要があるものが多い。今後の動向に注目していきたい。</li> </ul>

(2) 第2回

質問・要望事項	回答
<p>(視覚障害者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トイレやエレベーターの設置について、土岐駅でもエレベーターの設置場所が遠すぎると言っている。恵那駅の場合はどうなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームの構造やスペースから、エレベーターの設置については、駅長室の辺りから明知鉄道までの位置が候補として挙がっている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トイレのドアの開閉はセンサーがある自動式なのかなど構造も示してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回は構想であり細かい構造は、今後の事業計画で示される。センサーがある自動式なのか、まだ把握していない。要望として事業者伝えていきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視覚障害者にとってはエレベーターでも階段でもどちらでも良い。ホームを長く歩くことは非常に危険なためより近く安全な場所にあるものを利用したい。できれば階段側に誘導チャイムを設置してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅の整備については、エレベーターとトイレの設置以外は、今後移動円滑化基準にのっとり整備を行うという基本的な考え方で対応していく。要望として事業者伝えていきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラットホームの一番先端の方にフェンスを設置してほしい。中津川方面と名古屋方面の両側に必要である。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トイレについては、男女トイレの区別がつくように誘導ブロックの先に点字で案内を表示してほしい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 点字ブロックの横や上に物がおかれている。また、点字ブロックの経路通りに歩くと、電柱や駅の柱など障害物にぶつかるため、当てにならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、点字ブロックや駅前の改善など整備が始まる。当事者として意見が言える場所を考えていきたい。また、要望するだけではなくて、行政と協議して、行政側と市民側とが一体となって活動していくことが必要である。</li> </ul>

質問・要望事項	回答
<p>(内部障害者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>羽島市へ行ったところ、身体障害者用トイレがあったのだが、ボタンでドアが自動的に開閉し、センサーにより使用中ランプが点滅する設備が施されていた。それを恵那駅でも取り入れてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要望として事業者伝えていきたい。</li> </ul>
<p>(参加市民)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>販売機の切符が買えない状況を改善しなければならない。JRはどういった対策をするのか。電車構造自体の見直しもすべきであり、車椅子の車内での位置を確立することが必要である。シルバーシートのように車椅子のシート設置などの予定があるのか、説明がほしい。</li> <li>車椅子の人は切符をどこで購入しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は窓口で駅員が対応している。販売機は、今後取替え時に蹴り込みを付けるなど対応していくと聞いている</li> <li>車両は更新時にバリアフリー対応のものにしている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>点字ブロックの上部を整備するのではなく、突起していない横の方が歩きやすい方もいるのではないか。</li> </ul>	<p>(参加市民：視覚障害者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歩行訓練士の方には、点字ブロックの上部を杖で探りながらブロックの横を歩くことを基本として教わる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>明知鉄道に近い多目的トイレは機能的なものは揃っているのだが、実際に車椅子の方が利用する時には使いやすいのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明知鉄道の観光協会隣の多目的トイレは、まち歩きの時も利用しにくいと指摘をいただいた。こういった形が使いやすいのか考慮して、改修できる範囲で改修したい。また、利用者がいない時にはたまり場になってしまう恐れがあるため、利用時間の設定もすべきかと思う。</li> </ul>
<p>(身体障害者協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>恵那市では、あらゆる身体障害者がまとまり身体障害者以外の市民も参加出来る連絡協議会を結成している。また、毎年、協議会で協議された内容を要望書として提出している。ただ、行政からは中々返答がかえってこない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリーを推進する会など、当事者がアドバイス・検証する。また、事業者が当事者のまとめられたアドバイスを求める機関を検討したい。</li> </ul>

質問・要望事項	回答
<p>(身体障害者協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今回の説明会には、ほとんど身体障害者の方ばかりが出席している。もっと高齢者の方や他の市民に参加してもらわなければいけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相互理解を深め、互いに協力し合うためには、実際に話合いができる機会を設けることが必要である。その様な場が設けられるよう検討していきたい。</li> <li>身体障害者の方が中心となって、バリアフリーに関心のない市民の関心度を上げることも必要である。</li> </ul>
<p>(参加市民)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連絡協議会を行う必要はあると思うが、健全者と障害者との相互理解が何よりも大切である。お互いに協力し合うことによって、お互いの理解も深まるのだと思う。恵那市全体で推進していけるような団体を作り上げていけば市民の間にも浸透していくのではないかな。</li> </ul>	<p>(参加市民)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商業者も健全な市民も身体障害者の実状を知らない。身体障害者の連絡協議会があれば、現状の問題点を挙げて、知ってもらうことが必要だと思う。例えば商店街ならばまずは商店連合会長に問題点を文書にして送り、協議会の案内文書を通知するなどして呼びかけていけば、徐々に認識は高まるのではないかな。商業者との協議を行う時には行政の協力が必要だが、自分たちから行動を起こしていくことが重要だと思う。</li> </ul>



## 資料 7：用語の説明

### あ あんしん歩行エリア

交通事故を抑制するために、特に歩行者や自転車にとって安心な交通環境を確保することを目的として国が指定した地区である。エリア内では、道路管理者や警察により交通安全施設の整備等が行われる。

### 視覚障害者用横断帯

横断歩道の中央部にアクリル性の突起帯を敷設し、視覚障害者の横断方向を定める役割を果たすもの。

### LED

電流を流すと発光する半導体素子の一種。従来の電球に比べて、消費電力が小さく、寿命が長いほか、高輝度で逆光でも見やすく、信号機に採用した場合には、西日や朝日を受けた場合の視認性が格段に向上するという特性がある。

### 横断勾配

排水などのために道路面に付けられている進行方向に対して垂直方向の勾配。

### オストメイト

人工肛門や人工膀胱の保持者。袋の中に溜まった排泄物を処理し、汚れた手や下着を洗うために、トイレに温水シャワーや専用流し台を設けることで、安心して外出できるようになる。

### か グレーチング

道路側溝のフタなどに使う土木建築材で、鋳鉄や鋼鉄製格子の金物。

### 高齢化率

総人口に占める 65 歳以上の人口比率のこと。

### 高齢者等用押しボタン

押しボタンを押すことで、歩行者の青時間が長くなるような機能のついた信号機。

### さ 視覚障害者誘導用ブロック

視覚障害者が杖や足の裏の触覚でその存在や大まかな形状を確認できるような突起をつけたブロックのことで、一般に点字ブロックとも呼ばれる。注意喚起のための点状ブロックと誘導のための線状ブロックがある。

### 触知地図

視覚障害者が施設や設備の位置を認識できるように、地図や模式図に凸凹や点字を施した案内板。

## 縦断勾配

道路面に付けられている進行方向の勾配。

## スペシャル・トランスポート・サービス（STS）

主に身体機能面の制約から公共交通機関を利用することが困難な人を対象として、個別に利用者の住居の玄関口から目的地の入り口までの送迎サービスを提供するもの。

## セミフラット型式

沿道の宅地への車両乗入部での歩道の波打ちの解消や、交差点周辺での擦り付け勾配の緩和を図るため、車道面と歩道面の段差を5cm程度とした歩道の型式。

## た 多機能トイレ

車いす利用者だけでなく、オストメイト、乳幼児連れの家族、妊婦、高齢者等、あらゆる人の円滑な利用に配慮したトイレ。

## 低床バス

通常のバスより床面が低いバス。地面から床面までが55cm程度で乗降ステップが1段のワンステップバスと、25～30cm程度で乗降ステップのないノンステップバスがある。

## 透水性舗装

歩道において、水がたまらないように雨水を地下に円滑に浸透させる構造を持った舗装。

## な ノーマライゼーション

障害をもつ人も、もたない人も、社会の一員として、お互いに尊重し支え合いながら、地域の中でともに生活する社会こそがあたりまえの社会であるという考え方。

## は パーク・アンド・ライド

マイカーを自宅の最寄り駅周辺の駐車場に駐車し、電車等により乗り換えて通勤等を行う方法。

## ハートビル法

誰もが利用しやすい建物をつくることを目的として、多数の人が利用する建物について施設整備基準等を定めた法律の通称。正式には「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律」という。

## バリアフリー

高齢者や身体障害者、妊産婦、けが人等、身体的制約から移動に支障をきたす人の行動の妨げとなる障壁（バリア）を除去すること。広義には、段差解消等の物理的環境の改善だけでなく、人間の心理的なバリアや社会的な制度のバリアを除去することも含む。

## ヒアリング

聞き取りのことであり、問題点や要望などを把握するために市民や事業者などに行う。

### **ま** マウントアップ型式

歩車道を分離するため、車道面と歩道面の間に 15～20cm 程度の段差を設けた歩道の型式。

### **や** ユニバーサルデザイン

年齢や性別、身体的能力など人々の様々な特性や違いを超えて、全ての人が利用しやすいまちづくりやものづくり、しくみづくりを行う考え方。